



令和4年12月16日

# 蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校  
文責：校長 柿林 浩彦

第28号

## 「地域貢献」中学生の活動を地域へ！ ～「おもてなし」クリーン活動～

12月9日（金）、中学生の有志13名が「おもてなし」クリーン活動に参加しました。

呉市の中学校社会科部会は毎年「ふれあい夢議会」を行っています。呉市議会議場に各中学校の代表生徒が集まり、呉市内の中学校から提案された地域活性化や地域貢献の企画を審議します。可決された企画には予算が付き、提案した中学校は予算を使って、地域活性化や地域貢献に資する活動を行います。

今年は、音戸中学校が提案した「おもてなし」クリーン活動が賛成多数で可決されました。これは、呉市の観光地、史跡等を対象にクリーン活動を行うという内容です。本校も企画に賛同し、下蒲刈の長雁木を含む石畳を清掃することにしました。

この場所を選んだ理由は、貴重な歴史と文化があり、ふるさと下蒲刈を代表する誇れる場所であることです。また、下蒲刈中学校が統合し3年目になりますが、中学生が下蒲刈で活動する機会が少なくなっていることも理由の1つです。

当日は、落ち葉が多くありましたが、少しずつきれいになっていくにつれて達成感を感じていました。また、地域の方々やツーリングをしておられた海外の方々からも声をかけていただき、充実感を得るとともに、ちょっとした国際交流もできました。



短時間でしたので清掃する範囲は限られましたが、無事終わることができました。この活動を通して、生徒のみなさんは郷土愛や地域貢献の心を育み、仲間と一緒に活動することの楽しさを感じることができました。



## 「読み語り」で豊かな心を育みます

本校では毎月第3金曜日の朝、「読み語り」をしていただいております。読み手は、地域の「おはなしころりん」の皆様です。今月は12月16日（金）に行い、クリスマスや年末に関係ある絵本や英語で書かれた絵本を読んでいただきました。本日も学級担任の先生が教室に上がる前には、生徒の号令ののち、静かに「読み語り」が始まりました。

「読み語り」の効果としては、「子どもは読み語りを通じて、豊かな感情、情動がわき上がります。脳は使うことで発達し、『読み語り』は結果として子どもの豊かな感情を養い、『心の脳』が育つために役立っているのだろう。」などと言われています。

また、「おはなしころりん」の皆様には、校舎2階の廊下に50冊もの絵本を常設していただいております。そして、イベントなどに応じて、毎月半数の絵本を交換していただきながら、生徒のみなさんが興味をもって楽しく絵本にふれることができるようにしていただいております。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

